

# コーティング ケアは、 特殊な中空パウダーでできています

そのため、水をはじかなくなったコーティングの上にある「ミネラルの撥水阻害被膜」だけを削り取ったら、一瞬に潰れて、コーティング膜をまったく削りません。

ですが、パウダーの直径が大きいため、缶を振って“カラカラ”鳴らないままスプレーすると詰まりますが、“カラカラ”と鳴れば、詰まりません。

**特殊な構造のプロ用スプレーですので、  
使う前に、“カラカラ”と鳴るまで、必ず振ってください。**



## ミネラルの撥水阻害被膜とは?

新車時にカーディーラーなどで販売されるボディガラスコーティングが、比較的すぐに水をはじかなくなるのは、フッ素等で水をはじくように加工してあるガラス(無機質)のコーティングの上に、**水道水、地下水、泥水**などに含まれているミネラル(無機質)が膜状について、水をはじかなくしている現象です。これを撥水阻害被膜と呼んでいます。

※ダイヤモンドキーパー、クリスタルキーパーは、無機質のガラス質コーティングの上に有機質のレジンコーティングをしてあるので、撥水阻害被膜がつきにくい構造です。それでも、ミネラルが多くついた場合は、水はじきが低下する場合があります。

## コーティング ケアは撥水性を取り戻すケア商品です

そのミネラル膜(撥水阻害被膜)だけを削り取って、元のボディガラスコーティングの膜には一切損傷を与えず、撥水性を取り戻す画期的な今までにないコーティングのケア商品です。この特殊な性能は、ケミカルに含まれる「特殊な中空パウダー」によるものです。この特殊なパウダーは、最新の技術でできた「中空構造」のパウダーで、ミネラルの膜を削り取りながら一瞬に潰れて、急激に研磨能力を失い、元のボディにあるコーティングを削ることがありません。

## カラカラ鳴らないと缶が詰まる現象

しかし、この中空構造のパウダーは、その構造上大きな直径であり、イメージ的には、液が詰まったピンポン玉のような状態で液の中に沈んでいます。

これは、缶が静かな状態で置かれた後は、かなり詰まった密な状態になるので、エアゾール缶の中に微小なガラス玉を入れて、缶を振って“カラカラ鳴れば”パウダーが液に混ざるようにし、さらに缶のフタに「注意! 缶を逆さにして“カラカラ”と音がするまで振ってください」と、目立つようにステッカーを貼ったのですが、これがなかなか完全には実行していただけないことが多く、直径の大きい中空パウダーが混ざっていない密なまま押し出されて、ノズルに詰まってしまうことが発生していました。

※ガラス玉がカラカラ音を立てるまでスプレー缶をよく振ってから使うと、パウダーが詰まることはありません。

## 温度の上昇でトラブルが増加。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした

そこで弊社スタッフが店舗を巡回した折に「スプレー缶をしっかり振ることを徹底する」ことで、問題は解決していくものとの考えは、返品率が月を経ても一向に改善されないことから、「缶を振れば詰まることはない」というだけでは、通用しないと判断しました。

そこで、「缶をカラカラ音がするまで“しっかり”振る」を条件づけなくても、中空のパウダーが液の中で密になりにくくする改良を加えることに絞って、開発を進めてまいりました。そして解決するまでに、中空パウダーがスプレーのノズルに詰まったものがあれば、無条件に新品と交換する施策を取ってきました。

しかし今年の夏、急激な温度上昇によって中空パウダーの密度が上がり、数度缶を振ってもなかなか“カラカラ”鳴らずにパウダーの詰まりが発生するトラブルが増加し、皆様にご迷惑をおかけすることになりました。大変申し訳ありませんでした。

## 1~2回振れば必ずカラカラ鳴る改良

しかし、すでにこれまでのケミカル側の改良で、1~2回振れば必ず“カラカラ”鳴って「たくさん振らなくてはカラカラいわず、詰まりが発生する」というトラブルを防ぐための改良が完成しており、この夏から秋にかけて検証が終了しました。現在、出荷されているコーティング ケアは、詰まりの現象は解決しております。温度上昇による悪化もありません。

今後は「必ず振ってカラカラ音がしないと、詰まります」と注意の表現を明確化した上で、1~2回振れば、必ずカラカラいうように改善を加えたことで、コーティング ケアの詰まりのトラブルは根絶できるものと考えております。それでも「“カラカラ”鳴らずにスプレーすれば詰まってしまう」というのは、この製品の宿命的な特徴です。

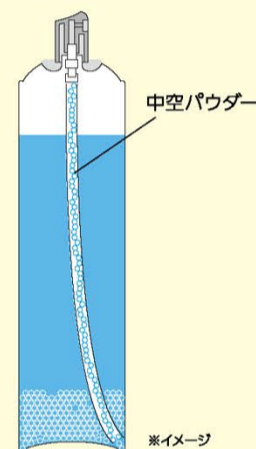
## いまだかつてない画期的なサービス商品です

コーティング ケアは、ガラスボディコーティングの表面についた撥水阻害被膜だけを削り取って、高価なガラスボディコーティングを復活させるという未だかつてない画期的なサービス商品です。

しかしスタートの「缶を振っていただく」部分でつまづいてしまいました。その後、気温が上がるにつれて「かなり缶を多く振らなくてはならない」ことで、結果として缶の詰まりが増え、皆様にはご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。しかし、これできなくてしまふにはあまりにも画期的な、多くのお客様に喜んでいただける商品力の高いサービス商品です。



水道水には意外とミネラル分が含まれています



**「“カラカラ”鳴るまで缶を振る」だけで、詰まりのトラブルを根絶できます。  
改良によって、1回2回振れば“カラカラ”鳴るように改善できております。**

どうか、皆様のご協力を切にお願いする次第であります。



KeepPer 技研株式会社  
代表取締役社長 谷 好通